


事業者名	名古屋市								
機器名	蛍光X線分析装置								
写真									
特徴・用途	本装置は、金属材料、窯業材料、有機材料など各種材料中の元素の定性分析および定量分析を行う装置である。固体、液体、粉体など種々の形状の試料について、複雑な前処理を必要とせず、簡便に測定を行うことができる。								
設置場所	名古屋市工業研究所								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
	平成30年1月	5	12	0	件数(件)	時間(時間)			
	平成30年2月	14	136	0	0	0	2	5	19
	平成30年3月	12	26	0	0	0	1	6	33
	平成30年4月	14	65	0	0	0	0	6	71
	平成30年5月	15	81	0	0	0	0	9	90
	平成30年6月	9	30	0	0	0	3	6	39
	平成30年7月	9	77	0	0	0	1	2	80
	平成30年8月	8	41	0	0	0	1	3	45
	平成30年9月	14	50	0	0	0	0	8	58
	平成30年10月	12	76	0	0	0	0	5	81
	平成30年11月	15	112	0	0	0	3	1	116
	平成30年12月	12	47	0	0	0	1	7	55
	平成31年1月	12	55	0	0	0	0	2	57
	平成31年2月	10	51	0	0	0	1	4	56
平成31年3月	11	58	0	0	0	0	1	59	
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速に含有元素の情報を得られ、早期に異材混入などの問題解決ができた。 ・ガラスビード法はICP発光分光分析法等よりも試料の前処理が容易であり、簡単に含有元素の定量分析が行えるようになった。 ・測定感度が良く、簡単な測定で微量有害元素の情報を得ることができた。 ・1mmφや0.5mmφの微小部分の測定が可能のため、正常部と異常発生部の違いについての情報が得られ、問題解決につながった。 								
補助事業概要の広報資料	https://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h29/pdf/29-035koho.pdf								